

答 辞

啓蟄も過ぎ、構内の桜の蕾がふくらみ始め、春の暖かい日差しを感じる季節となりました。

本日は、学長先生を始め、諸先生方、並びにご来賓の皆様にご臨席賜り、このように盛大な修了式を挙行していただき、誠にありがとうございます。また、学位記の授与にあたり、皆様から暖かいお祝いの言葉を頂戴しましたこと、修了生を代表して厚く御礼申し上げます。私達一同は、連合農学研究科入学以来、多くの先生方からご指導を受けながら、研究課題に取り組んでまいりました。その道は決して平坦ではなく、幾度と無く困難に直面してきましたが、先生方のお導きの下、それらの問題を一つずつ乗り越えてくることができました。本日学位を取得することが出来たのは、指導教員を始めとする先生方のご指導、ご鞭撻の賜物です。また、研究生活を支えてくれた友人や研究室の皆様、円滑に研究が行えるようご尽力いただいた職員の皆様、その他、研究に協力して下さったすべての方々に心より御礼申し上げます。そして、長きにわたる学生生活および研究生活を経済的、精神的に支えてくれた両親、家族に深く感謝します。

皆様のご尽力をいただきながら、学位論文を作成し学位を取得しましたことは、私達にとって大きな自信となりました。私達は、東京農工大学大学院連合農学研究科を修了したことに誇りと責任を持ち、研究者として、それぞれが進む道へ、新たな一步を踏み出す決意です。そして、日本のみならず世界の農業、ひいては社会の発展に貢献することができるよう、いっそうの努力を重ねてまいり所存です。

最後になりましたが、東京農工大学大学院連合農学研究科のさらなる発展と、皆様方のますますのご活躍とご健勝を心よりお祈り申し上げ、答辞とさせていただきます。

平成二十一年三月十三日

東京農工大学大学院

連合農学研究科代表

生物生産学専攻

高橋 真秀